

学校教育目標	自分らしさを発揮して、未来を切り拓く(よりよい社会を創る)生徒を育成します。 ○主体的に考え行動し、粘り強く努力する力を育てます。 ○命を大切に、思いやりと感謝の気持ちをもって協働的に行動できる力を育てます。 ○様々な関わりを通して視野を広げ、社会に役立つ力を育てます。					
	学校概要	創立 41 周年	学校長 関 恭雄	副校長 清水 博	3 学期制	一般学級: 13 個別支援学級: 3
	児童生徒数:	462 人	主な関係校: もえぎ野小学校、市ヶ尾小学校			

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	もえぎ野中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける育成を目指す資質・能力を踏まえた「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
〈心身ともにたくましく生きる力〉 〈言語活用、コミュニケーション能力〉 〈情報活用能力〉	もえぎ野中学校 もえぎ野小学校 市ヶ尾小学校	○自他を大切に、協働的に行動できる子ども ○夢や希望を持ち、自分らしさを発揮できる子ども ・小中合同授業協議会で、自己肯定感を育てる授業づくりや教育活動を研究、推進。 ・児童生徒指導、特活指導、特別支援教育等の情報交換を実施。 ・ブロック教務会で、小中一貫教育の効果的な推進スケジュールを検討。

中期取組目標	◎生徒の主体性と教職員の創意を生かし、活力と魅力あふれる学校づくりを目指します。 ・指導と評価の一体化を目指した授業改善を進めるとともに言語能力、情報活用能力、問題解決能力を育てます。 ・特別活動への取組を通して集団や社会の形成者としての資質・能力(コミュニケーションと協働)と自己有用感を育てます。 ・保健教育の充実を通して心身ともにたくましく生きる力と自他の健康と安全を保持増進する資質・能力を育てます。 ・深い生徒理解に基づく適切な指導や支援と迅速で組織的な対応を通して信頼関係の構築と課題解決を図ります。 ・学校運営協議会の設置を機に感染対策のため停滞していた地域連携と小中連携の再構築を目指します。
--------	---

重点取組分野	具体的取組
知 生きてはたらく知 担当 学習指導部・研究部	①指導と評価の一体化を目指した単元づくりに注力し、ねらいが明確で学習の見通しが持てる授業を実践することを通し育成を目指す資質・能力の伸長を目指す。 ②全国及び市の学習状況調査等のデータを活用し、生徒の実態に応じた授業改善を校内授業研究や小中一貫ブロックでの協議も生かしながら推進する。
徳 豊かな心 担当 道徳・人権/特活指導部	①特別の教科道徳において、「考え、議論する道徳授業」を推進し、対話的な学習や多面的・多角的に考える学習を通して道徳的な価値の理解を深める。 ②特別活動(学級活動、生徒会活動、学校行事)で生徒一人ひとりに活躍の場を与え、相互評価と成功体験により自己有用感を高める。
体 健やかな体 担当 保健環境指導部・保健体育科	①日常での保健・安全指導、感染症対策を通し、自分の健康に目を向け、基本的生活習慣の確立、自分自身の健康管理ができる力を育てる。 ②毎時間の保健体育の授業において、ランニングとトレーニングに取組み、単元に絡めた体力づくりを継続的に行う。
公開 地域学校協働活動 担当 専任・学校運営協議会	①学校運営方針を保護者・地域と共有し学校・家庭・地域が一体となって生徒の健全育成に取り組む。 ②学校運営協議会設置を機に地域と生徒の直接対話の機会を設け学校と地域の相互理解と連携を深めるとともに、地域行事を対面形式で実施できるよう、感染対策と両立できる創意ある新たな企画を進める。
いじめへの対応 担当 いじめ防止対策委員会	①教職員のいじめに関する感度を高め、積極的にいじめを認知していく。また、教育相談や生活アンケートの実施により、いじめの早期発見に努める。 ②いじめ防止対策委員会を定期および案件発生時に開催し、いじめ認知案件に関して適切な対応や対策を組織的に検討し実施する。
人材育成・組織運営(働き方) 担当 管理職・教務主任・学年主任	①メンターチームを組織して、月1回程度、時間を区切って自主研修を行い、経験の浅い職員の育成を図る。 ②学年や指導部等において、OJTでの人材育成を推進する。また、業務の効率性の大切さを意識して職務に臨む。 ③校内研修を意図的、計画的に実施しながら、教師力の向上とチームとしてのまとまり、ミドルリーダーの育成を目指す。
児童生徒指導 担当 生徒指導部	①年度当初の生徒指導研修会や職員間の日々の情報交換で、情報把握とトラブルの予防に努める。 ②年に3回の教育相談週間や日常的な声掛け等で生徒一人ひとりに寄り添い、組織的な対応をする。 ③YPアセスメントや各種意識調査等を活用して生徒理解を深め、より効果的な指導につなげる。
キャリア教育(自分づくり教育) 担当 総合・キャリア教育	①自分づくりパスポートを活用しながら、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力・態度を育てていく。 ②地域の事業者や、地域をはじめ様々な大人と連携をして職業講話や職業体験を実施し、社会と関わりながら、勤労観・社会観を育てていく。
特別支援教育 担当 特別支援教育委員会	①特別支援教育委員会の定期開催と内容の充実を図り、支援や配慮を要する生徒に対する理解を深める。 ②定期的に校内研修を行い、教職員の特別支援教育に関する理解を深め、知識とスキルの向上を図る。 ③サポートルームにおける一貫した支援の充実を目指し、個別の支援計画や指導計画を共有し活用する。
安全管理 担当 保管環境指導部	①毎月、活動場所の安全点検を行い適正に修繕し、安全な環境整備を行う。 ②災害時に備え、年度初めに緊急引き渡しカードを更新・メール配信を整備するとともに、飲食料・簡易トイレなどを整備する。